

第4 | 回延岡陸上競技選手権大会 競技注意事項

1 本大会は、令和7年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技規則により行う。

2 招集について（招集所は100mスタート地点横 スタンド下倉庫）

- (1) トラック種目競技者は、招集時刻に招集所でコールを受ける。その後、競技役員の誘導に従い、競技場に入場する。退場は競技役員の指示による。
- (2) フィールド種目競技者は、招集時刻に現地でコールを受ける。退場は競技役員の指示による。
- (3) 招集時間は次のとおりとする。

競技種目	招集（点呼）開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	（競技開始時刻）30分前	（競技開始時刻）20分前
走高跳・棒高跳・砲丸	（競技開始時刻）50分前	（競技開始時刻）40分前
走幅跳	（競技開始時刻）60分前	（競技開始時刻）50分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、招集を受けること。

- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。ただし他競技種目に出場中の競技者は、代理人が申し出ること。
- (5) リレーに出場するチームは、招集所でオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入すること。オーダー用紙は競技開始60分前までに招集所に提出すること。

3 組み合わせ・走路・試技順

- (1) レーン順・競技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。
- (2) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。
- (3) 小学生の走幅跳は3回試技とする。

4 走高跳のバーの上げ方

種別	練習	試技
小学生	100cm	100cmから5cmきざみ115cmまで 以後3cmきざみ
女子	105cm	110cmから5cmきざみ140cmまで 以後3cmきざみ
男子	125cm	130cmから5cmきざみ160cmまで 以後3cmきざみ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5 棒高跳のバーの上げ方 練習および試技におけるバーの高さ等は自己申告によるものとする。

6 投てき物の重量

性別 \ 種目	砲丸		
	一般	高校	中学
男子	7.26kg	6.0kg	5.0kg
女子	4.0kg	4.0kg	2.72kg

7 ハードル競技のインターバルについて

性別	種目距離	ハードルの高さ	インターバル			
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	ハードル台数
中学男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
中学女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台
男子	110mH	106.7cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
女子	100mH	83.8cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台

8 その他

- (1) アスリートビブスは令和7年度宮崎陸協登録番号を使用する。なお、トラックレース出場者は、大会本部から貸与される腰ナンバーを使用し、レース終了後直ちに返却すること。ただし、4×100mRは4走者のみが腰ナンバーを使用する。
- (2) 中学生以上は不正スタート1回で失格とする。小学生は同じ競技者が2回不正スタートをした場合にその競技者を失格とする。トラック競技におけるスタート前の発声を禁止する。
- (3) 各種目3位まで表彰する。また、小学生の優勝者にはメダルを授与する。大会終了後の選考会を経て、最優秀選手賞（若干名）を後日授与する。
- (4) ウォーミングアップは補助競技場を使用できる。なお、スパイク流し程度のアップは競技場内でも認めるが、競技に支障がない時間帯のみとする。
- (5) 競技用靴については、WA改定規則を適用する。ただし、小学生には適用しない。
- (6) 記録速報やライブ配信を行う。※【GGN速報室】<https://ggn.goldengames.jp/>